



兵庫県知的障害者施設家族会連合会

第 59 号

— 交流会を終えて —



9月3日開催いたしました第3回目の交流会も無事終了することができました。今回も多く方にご参加いただき、心から感謝申し上げます。

新型コロナから私たちの生活は一変しました。保護者同志が会う機会が失われ、語り合うことができなくなり、孤立化していくこの状態を打破し、前に進めていくため交流会を開催しました。入所、通所、グループホームにそれぞれ分かれていただき、共通テーマのもと語り合っていたいただき、最後に各グループから話し合った内容を発表していただきました。

今回の交流会においても利用者・保護者の高齢化、役員のなり手不足問題等挙げられていました。このことは、福祉関係にとどまらず一般社会でも起きている問題です。地域の自治会、学校のPTA等、今まで組織されていたものが崩壊しようとしています。いつの間にか人をリスペクトしなくなり、人のために行うことより、自分のために行動を取ることが正しいと思えてきているのでしょうか？交流会にご参加いただいた方々は、愛する利用者である子どもたち・兄弟・姉妹のために一生懸命に

兵庫県知的障害者施設家族会連合会
(ひょうごかぞくねっと)

会長 山口 英 治

取り組んでいます。皆さんと共に進めるため、ひょうごかぞくねっとは様々なことに取り組んでいきます。

そのひとつとして後見人制度の相談会を開催しています。後見人制度は、個別の状況に応じた対応が必要になります。そのため個別での相談を受け付けています。(詳しくはひょうごかぞくねっとホームページをご覧ください。)

また、ひょうごかぞくねっとを知っていただくために兵庫県下の国会議員に評議員会等の案内を郵送し、多くの方(秘書)に参加していただく行動を取っています。

県や国への陳情を求めるお声も聞かせていただきました。皆さんの声をお聞かせください。その声を県・国へ届けていきます。兵庫県は他の県と違い政令都市、中核市、その他の市町村があり、日本海、太平洋があり自然ゆたかな街並みと都市が共存している県です。

もしできるのであれば皆さんの施設、事業所でも交流会をしてみたいかと思いますが。仲間を増やしてみませんか？話すことで理解しあうことが生まれてきます。私がしなくても誰かがやってくれる？そうでしょうか？

共に未来のために道を切り開いていきましょう。

2024年度事業報告・決算報告/2025年度事業計画・会計予算

2025年度評議員会は、6月10日（火）10：30～12：30 神戸市立総合福祉センターで開催致しました。
すべての議題において承認されました。ご出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。

出席者：55名（役員・評議員36名、来賓19名）

会議成立報告：評議員52名に対し、出席43（会場出席28名、委任状出席15名）、欠席9名

議題

第1号議案 2024年度事業報告について

第2号議案 2024年度会計決算報告・監査報告について

第3号議案 役員の変更について

第4号議案 2025年度事業計画(案)について

第5号議案 2025年度会計予算(案)について



2024年度会計決算報告

2024.4.1～2025.3.31 （円）

1. 収入の部

会費(賛助会費含む)	4,168,000
寄付金・保険手数料	398,966
雑収入	5,483
負担金(全施連から給与手当他)	1,250,000
前年度繰越金	7,299,219
合計	13,121,668

2. 支出の部

会議費・旅費	335,092
印刷費	84,827
通信運搬費	337,732
研修費	793,870
事務消耗品費	365,620
負担・分担・渉外費	371,792
給与手当(全施連給与手当含む)	2,822,600
法定福利費・福利厚生費	745,330
雑費	2,640
新聞図書費	6,600
小計	5,866,103
特別活動積立金	3,000,000
次期繰越金	4,255,565
合計	13,121,668

2025年度会計予算

2025.4.1～2026.3.31 （円）

1. 収入の部

会費(賛助会費含む)	4,125,000
寄付金・保険手数料	360,000
雑収入	5,000
負担金(全施連から給与手当他)	1,250,000
前年度繰越金	4,255,565
合計	9,995,565

2. 支出の部

会議費・旅費	338,000
印刷費	100,000
通信運搬費	330,000
研修費	850,000
事務消耗品費	310,000
負担・分担・渉外費	382,000
給与手当(全施連給与手当含む)	2,700,000
法定福利費・福利厚生費	720,000
雑費	3,000
新聞図書費	6,600
小計	5,739,600
次期繰越金	4,255,965
合計	9,995,565

2025年度は特別活動積立金 300 万円から、全施連全国大会の旅費交通費(正副会長分)と参加者への助成金(7,000 円/会員 1 人)を支出予定にしています。

■2025 年度活動計画

1. 行政機関への陳情と意見交換

ひょうごかぞくねっととして、県知事・政党へ団体要望を提出していくと共に、行政・議員との意見交換に務めます。

2. 災害における体制の構築

いつ発生してもおかしくない東南海・南海地震に備え、「障がい者のための防災ハンドブック」(仮称)やマイタイムライン(災害時に慌てずに避難できるように、あらかじめ自分や家族の避難行動を時系列に整理したもの)の作成が求められます。避難できる体制づくりを整え、防災意識を高められるよう働きかけます。

3. 親なきあとの安心できる体制の構築

- ・中央研修会を実施。
- ・知的障害をもつ家族に関する身近なお困りごとから遺言・相続・成年後見制度の全般を相談できる個別相談会を今年度も継続します。

4. 問題解決のための意見交換の実施

家族会員の高齢化による家族会解散や退会、役員の担い手不足などは避けて通れない問題です。会員同士による意見交換の場を設け、問題解決に繋がります。

5. 役立つ情報の発信

機関紙「ひょうごかぞくねっと」を年2回発行し、活動内容や家族の思いを発信します。必要場合は臨時号として適宜情報を発信、ホームページやメールでも情報を発信いたします。

6. 組織の強化

ひょうごかぞくねっとの原点に立ち、組織の強化を図ります。

- ・各地区での研修会の開催、情報の発信など

7. 友誼団体との連携強化

障害福祉の向上を願う知的障害者団体との連携強化を強めることが大切です。

- ・福祉7団体の会の主催団体として積極的に取り組む
- ・兵庫県知的障害者施設協会との意見交換を行う
- ・手をつなぐ育成会をはじめ各種団体の活動に後援団体として協力する

8. 全施連の活動の取組み

全施連の活動に共感できる部分は、かぞくねっととして積極的に取り組みます。

- ・全施連全国大会への出席

■各地区かぞくねっと活動計画

【阪神】

いつ発生するか分からない東南海・南海地震に備え、障害のある人の避難を考える。各行政の災害避難マップ

を参考にして、障がい者が安全・安心して避難できる福祉避難所マップを作成する。

高齢化する障がい者の親亡き後を考える。

評議員会(予定)6月,9月,12月,1月

【こうべ】

3年後のこうべかぞくねっとパートⅡ2年目の行動計画に基づき地域1番の家族会連合会を目指します。連合会のこれからは、家族会だけでなく神戸市・社協・施設(連盟)・友誼団体に一緒になって頂き障害児(者)の安心・安全を担保出来るように努力をします。

パートⅡ2年目 研修の場に家族会だけでなく神戸市・社協・施設(連盟)・友誼団体に参加頂き一緒になれる場の充実。

各理事・各施設会長活動

1 関係団体強化 具体的目標

- ① 第3回神戸市講師の研修会(10月20日火)
開催・研修質問の募集強化

- ② 各種友誼団体関係会・積極的に参加

2 架け橋募集 (親の思い・心配・希望)

- ① 全施設からの掲載・(年1回目標)

3 HP 見直し ①見直し継続・固定ページ作品募集
〈理事活動〉HP:年12回 会長ブログ・架け橋掲載

会長会(評議員会): 年1回 5月20日

理事会:年5回 4月 5月 8月 9月 3月

研修会:年1回 10月20日

監査:年1回 4月

表敬訪問・新年挨拶:年2回(1月、8月)

HUG+芸術フェスタ実行委員会:年2回

友誼団体: 年6回

【東・北播磨・淡路】

昨年は5年ぶりの研修会開催することが出来ました。

今年度も研修会開催、研修議題は、会長会にて相談し決定します。

理事会2回(5月・10月) 会長会2回(7月・11月)

【西中播磨】

例年同様、希望をもって順応に前進対応していきたい。

理事会開催 7月・9月・2月

会長会開催 7月・9月・2月

ブロック研修会・いちょう園保護者会担当

【但馬・丹波】

・あらためて、会員の思いの共有化を図り、共感の輪を広げる。

・施設ごとの現状を情報交換し、課題解決の大いなるより所とする。

・あくまで施設利用者の幸せを願い、おだやかに寄り添うことをめざす。

但馬・丹波かぞくねっと研修会

・11月ごろに実施予定

・研修内容

一般会員様を含め、過去の経験や思い出を語りあい、身近な共感の輪を広げる。

役員会等予定

- ・5月31日 ・7月26日
- ・11月研修会(日程重複を避けて決定)
- ・11月29日(研修会連動で再考)
- ・1月31日 ・3月28日

■2025年・2026年度役員

役 職	氏 名	施設名
会長	山口 英治	ななくさ新生園
副会長	大垣 則男	みつみ学苑
副会長	吉岡 京子	つつじ園
副会長	寺澤 節子	尼崎武庫川園
副会長	小野寺 良三	神戸明生園
副会長	木村 政照	いちよう園
理 事	松端 信茂	県知協会長
理 事	高野 國昭	学識経験者
理 事	荻田 藍子	県社協部長
理 事	小山 京子	学識経験者
理 事 阪神	田中 佳子	リープ・フーリー
理 事 阪神	野口 多江子	第2松の園
理 事 神戸	野口 雄二	神戸光生園
理 事 神戸	千坂 喜勝	陽気会
理 事 神戸	森山 安子	恵泉寮
理事東北播磨	武市 君江	あかりの家
理事東北播磨	中右 厚子	希望の郷
理事西中播磨	上田 茂	赤穂精華園
理事西中播磨	中本 津知宏	協和学園
理事但馬丹波	新田 実	丹南精明園
監 事	岩本 四十二	姫路市立総合福祉通園センター
監 事	久保田 忠幸	あかりの家
顧 問	堺 執	三田谷治療教育院

〈退任〉

理事(神戸・ワークセンターいわや) 出来 竝江様

理事(西中播磨・アルーラ) 松田 文一様

顧問(なごみの里) 木村 三規子 様

長きに渡り、ひょうごかぞくねっとに

ご尽力賜り、感謝申し上げます。



〈役職変更〉

野口雄二(神戸光生園) 副会長 → 理事

小野寺 良三(神戸明生園) 理事 → 副会長

■就任のご挨拶

理事(こうべ) 森山 安子

地域の団体は、役員のなり手不足から削減になり、PTAは特に問題がないから必要がないという人もいます。

さて、我々の子どもや、兄弟姉妹たちはどうだろうか、今満足して過ごしているだろうか。これからはどうだろう。課題はいっぱいですが、せっかく在る組織。その一員として頑張りたいと思っています。



理事(阪神) 野口 多江子

今年度より、ひょうごかぞくねっとの理事をさせて頂くことになりました。

私は、13年前に定年退職をするまで子供が御世話になっている会のことは、ほとんど知らず、保護者会やひょうごかぞくねっとの事も最近になって少しずつわかりだしました。冊子は、頂いていてもパラパラと目を通す程度で中味の理解まではできていませんでした。そんな私ですが、今までの先輩かぞくのみなさんのお力で子どもたちの権利や主張が活かされていることは理解できました。微力ですが、今までの皆様方の努力が、無駄にならないよう努めさせて頂きたいと思っています。宜しくお願い致します。



■2025年度活動

月	日	行事	内容	場所
4	3	第1回正副会長会	2025年度の活動方針	事務所
4	9	会計監査	2024年度会計監査	事務所
4	23	第1回理事会	2024年度事業・会計報告 2025年度事業計画・予算案	福祉センター・オンライン
6	10	評議員会	ひょうごかぞくねっと総会	福祉センター
※6	25,26	全施連社員総会	総会・年間計画	福祉センター
7	1	第2回正副会長会	交流会・今年度の活動について	事務所
7	23	第2回理事会	交流会・今年度の活動について	福祉センター
7	30	兵庫県知的障害者施設協会との懇談会	テーマ:地域移行について、国・県への要望、物価高対策など	福祉センター
9	3	交流会	家族会の存続について・その後の交流	福祉センター
9		たより59号発行		
10	30	第3回理事会	中央研修会について、下半期活動	福祉センター
12		中央研修会	テーマ:未定	福祉センター
1		第4回正副会長会	今年度事業まとめと来年度に向けて	福祉センター
2		第4回理事会	今年度事業まとめと来年度に向けて	
3	下旬	たより60号発行		

〈編集後記〉 今年の夏の異常気象 連日の猛暑・水不足・その上に米不足。一方では大変な賑わいの、大阪・関西万博と色々とある今日この頃です。ひょうごかぞくねっとは、5年間思うように活動することが出来ませんでした。コロナが第5類の移行を受け、昨年より以前に戻りつつあります。総会、交流会、中央研修会もリモートでなく対面になりました。今年も研修会等も予定しております。是非とも多くの人の参加よろしくお願いします。各かぞくねっとも個性をこらした研修会も開催いたします。

また延期になっていた全施連全国大会が10月21日～22日鹿児島で開催されます。テーマは「知的障がい児・者の生涯を考える～高齢化する家族と知的障がい者の生き方を探る～」です。ご参加の方のようお願いします。(K.Y)